

## 読売新聞 きょう（11月23日）のイチ押し

### 一面など 新型コロナ、塩野義製飲み薬緊急承認

厚生労働省は22日、塩野義製薬が開発した国産初の新型コロナの飲み薬「ゾコーバ」を緊急承認しました。12月上旬から使用できるようになる見通しです。

- ★ 「ゾコーバ」は12歳以上の軽症・中等症患者が対象です。重症化リスクの低い人も使えるのが特徴です。発症3日以内に飲み始め、1日1回5日間服用します。ただし、妊婦は使用できず、併用できない薬も36種類あります。
- ★ 7月の専門家会議では、中間段階での臨床試験で12症状の総合的な改善効果が十分に示されず、承認が見送られた経緯があります。今回はのどの痛みや咳、発熱などの5症状が消失する時間を約24時間短縮する効果が得られました。

### 運動面など サッカーW杯 日本、今夜ドイツ戦

カタールで行われているサッカーW杯に出場している日本は23日午後10時（日本時間）、ドイツとの初戦に臨みます。試合前日の記者会見で森保監督は「26人全員が戦える状態になっている。我々のベストをぶつける」と一戦必勝を誓いました。

- ★ 日本代表を率いる森保監督は日本が初のW杯出場権を逃した「ドーハの悲劇」のピッチに立っていました。「悲劇を歓喜に変えたい」と話す森保監督の心の中にあるのは仲間を大切にする思いです。未到の8強以上へ、信じる道を進む姿を社会面で紹介しています。
- ★ 同じく社会面で、ドイツ・ブンデスリーガで日本人初のプロ選手となった奥寺康彦さんが「総合的にはまだドイツが上だが、差はすごく縮まっている」と日本の健闘に期待を寄せています。

### 他紙と比べて

経済を切り口に京都の底力を考察するシリーズ「京都力」第五部が始まりました。今回のテーマはソフトパワーです。「おもてなし」「食」「コンテンツ産業」「景観」の四つの視点から京都が持つソフトパワーの強みを探ります。初回は一面と経済面で、おもてなしの精神を取り入れた旅館やホテルの動きを紹介します。